

# 名古屋市女性会館のあらし

平成28年度版

名古屋市教育委員会

# 目 次

I	目 的	1
II	建設の経緯	1
	1 女性学習センター	1
	2 女性情報センター	2
III	施設のあらまし	2
	1 名称・位置	2
	2 建物の概要	2
	3 施設の案内	3
	4 開館時間と休館日	3
	5 部屋別一覧	4
IV	組織及び分掌事務	5
V	予 算	5
VI	平成28年度事業計画	6
	1 平成28年度事業の基本指針	6
	2 事業目標と具体的な事業	6
	(1) 「学習の場」の提供	6
	(2) 「交流の場」の提供	7
	(3) 「情報の場」の提供	8
	3 施設等の提供	8

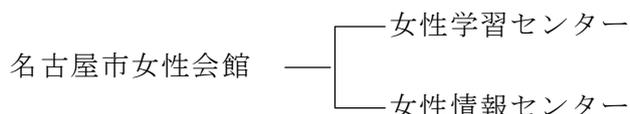
VII	平成27年度事業結果	9
1	主催事業のあらまし	9
	【具体的な事業展開】	10
1	「学習の場」提供事業	10
2	「交流の場」提供事業	12
3	「情報の場」提供事業	14
4	その他	16
VIII	平成27年度利用状況	17
1	開館日数	17
2	利用人数	17

## I 目的

名古屋市女性会館は、「女性の学習・交流・情報の拠点」として、女性の学習活動・グループ活動の支援等を行い、女性教育の振興を図ることを目的として設けられた社会教育施設である。学習や交流をとおして、女性が問題を解決する力を高められるように、各種の事業を展開している。

また、平成3年に併設された女性情報センターは、女性の生涯にわたる学習要求に応える情報の提供や女性自らの情報の活用、発信を支援することを目的としている。

なお、女性情報センターの開館により、既設の婦人会館と新設の女性情報センターの総合名称を「女性会館」とし、婦人会館部分を女性学習センターとした。



さらに、市民に一層親しまれる施設となるよう、女性会館の愛称を公募により「イーブネット」とした。

「イーブネット… “イーブン=平等” と “ネットワーク=交流と連帯” の言葉を合わせたもの」

平成26年4月には男女平等参画推進センターが女性会館に移転し、女性教育と男女平等に係る事業及び運営を一体的に行っている。

また、両施設の共通愛称を公募により「イーブルなごや」とした。

「イーブル… “イーブン=平等” と “エイブル=可能” を組み合わせた言葉」

## II 建設の経緯

### 1 女性学習センター（旧「婦人会館」）

昭和48年12月19日	地域婦人団体、クラブ婦人団体が市会に請願（署名8万人）
49年 2月 1日	請願、市会で採択
49年 8月30日	地域婦人団体、クラブ婦人団体が市長及び教育委員会へ陳情
49年12月 3日	婦人グループ・サークルが市長及び教育委員会へ陳情
50年 1月29日	婦人グループ・サークル共同で婦人会館建設を市会に請願
50年 1月	名古屋市短期3か年計画を策定（婦人会館建設を計画）
50年 4月 1日	婦人会館建設調査費を当初予算に計上（調査費30万円）
50年10月13日	婦人団体・グループ代表を含む建設調査委員会設置
	第1回会合、基本構想について審議
50年12月 1日	第2回会合、施設・事業内容について審議 他都市実情調査
51年 2月24日	第3回会合、あるべき会館像の作成
51年 4月 1日	51年度予算に実施設計費を計上（1000万円）
51年 7月 7日	第4回会合、女性の要望集約を決定
51年 7月～9月	計画案・事業案についての女性の要望、意見集約
51年 9月	現在地に構想固まる
	実施設計費を9月市会で補正
51年12月	本体工事実施設計を完了
52年 4月20日	工事着工
53年 7月19日	開館

## 2 女性情報センター

昭和60年10月	「婦人会館に婦人教育情報センターとホールの建設をすすめる会」 発足（4団体・69グループ参加）
60年12月	「婦人会館に婦人教育情報センターとホール建設に関する陳情書」を 市長、教育委員会及び市会へ提出（署名59,000人）
61年 8月	婦人団体代表、学識経験者を委員とする「女性教育情報センター建設 調査委員会」を設置
62年 2月	すすめる会より女性教育情報センターの施設構想について要望書提出
63年 3月	「女性教育情報センター基本構想」策定
平成 元年 3月	女性教育情報センター基本設計完了、情報システム調査実施
元年 9月	実施設計完了
元年12月	建設着工
2年12月	建設完了
2年12月	情報システム設計完了、運用準備
3年 5月24日	開館

### Ⅲ 施設のあらまし

#### 1 名称・位置

- (1) 名称 名古屋市女性会館（共通愛称「イーブルなごや」）  
 (2) 位置 名古屋市中区大井町7番25号

#### 2 建物の概要

	女性学習センター	女性情報センター	合 計
敷地面積	2,211.08㎡	1,169.26㎡	3,380.34㎡
延床面積	3,434.18㎡	2,392.49㎡	5,826.67㎡
建築面積	1,043.39㎡	791.12㎡	1,834.51㎡
構 造	鉄骨鉄筋コンクリート造 地上3階、地下1階	鉄骨鉄筋コンクリート造 地上3階建一部4階建	
着 工	昭和52年4月20日	平成元年12月	立体駐車場 484.08㎡
竣 工	昭和53年7月15日	平成2年12月	
開 館	昭和53年7月19日	平成3年5月24日	
総 工 費	608,962,000円 うち国庫補助 60,000,000円 県費補助 60,000,000円	1,022,000,000円 うち国庫補助 83,000,000円 県費補助 71,400,000円	

### 3 施設の案内

区 分	女性学習センター	女性情報センター
4 階		同時通訳室（親子ルーム）（3）・調光・映写室・設備機械室
3 階	大会議室・中会議室・大研修室 第4集会室・第6研修室・第7研修室 多目的室	ホール
2 階	第1研修室・第2研修室・第3研修室 第1和室・第2和室・視聴覚室・授乳室 生活科学研修室・小会議室	録音室・モニター室
1 階	文化活動室・ボランティアルーム・喫茶室 印刷コーナー・託児室・第4研修室 活動コーナー・図書資料室 第5研修室・図書閲覧コーナー	第1集会室・第2集会室・第3集会室 情報フロア・活動コーナー
地 階	機械室・電気室・ボイラー室 消火用ポンプ室	

駐車場	立体駐車場	32台
	平面駐車場 (身障者用2台含む)	17台
	合 計	49台

### 4 開館時間と休館日

#### (1) 開館時間

午前9時～午後9時（日曜・祝休日は午後5時まで）

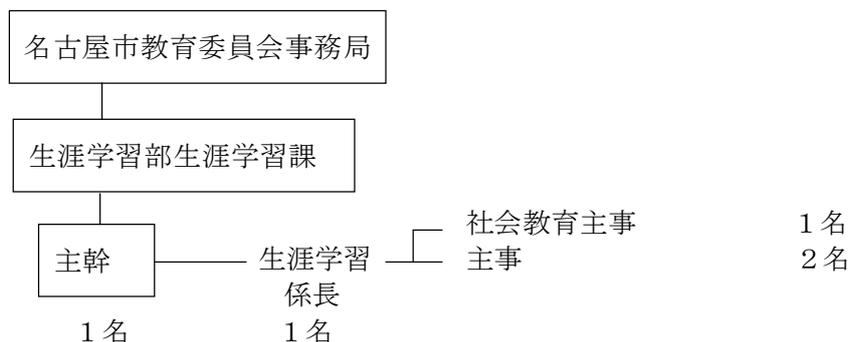
#### (2) 休館日

毎月第3木曜日、年末年始

## 5 部屋別一覧

区分	女性学習センター			女性情報センター		
	部屋名	定員 (人)	面積 (㎡)	部屋名	定員 (人)	面積 (㎡)
3階	大会議室	42	97.40	ホール	350	350.00
	中会議室	24	49.80	ステージ	—	140.00
	大研修室	150	141.60	ロビー	—	61.75
	第6研修室	12	33.62			
	第7研修室	32	70.25			
	多目的室	30	76.48			
	第4集会室	63	94.40			
2階	視聴覚室	126	144.60	録音室	—	18.52
	第1研修室	54	70.80			
	第2研修室	54	70.80			
	第3研修室	12	29.88			
	生活科学研修室	54	87.00			
	第1和室	18	97.00			
	第2和室	15				
	小会議室	12	29.88			
1階	事務室・放送室	—	90.80	第1集会室	36	51.41
	第4研修室	15	32.00	第2集会室	22	37.99
	第5研修室	8	21.39	第3集会室	12	31.26
	文化活動室	50	117.00			
	託児室	—	86.96			
	ボランティアルーム	—	29.96			
	図書資料室	—	163.18			

#### IV 組織及び分掌事務



生涯学習係分掌事務（女性会館関係）

- (1) 女性会館の事業
- (2) 女性教育の事業
- (3) 女性会館の管理等に関する合理化

#### V 予算

（単位：千円）

事 項	平成28年度	平成27年度	増 減
女性会館運営費	56,716	58,552	△1,836
管 理 費	50,510	50,510	—
学習機会提供事業	3,157	4,121	△964
グループ活動援助	39	39	—
情報提供相談事業	2,905	3,770	△865
女性カレッジ	105	112	△7

## VI 平成28年度事業計画

### 1 平成28年度事業の基本方針

これまでも名古屋市女性会館（以下、女性会館）は、女性教育を振興する拠点施設として、男女共同参画社会の実現をめざし、女性の生涯にわたる学習を推進してきた。

平成28年度は、国の「第4次男女共同参画基本計画」や、本市の「名古屋市男女平等参画基本計画2020」の内容を踏まえ、多様化・高度化する学習ニーズに応え、さらなる女性のエンパワーメント（主体的な力をつけること）や男女共同参画の視点に立った意識啓発につながる「学習の場」、「交流の場」、「情報の場」として事業を展開していくとともに、平成26年度より一体的運営を行っている男女平等参画推進センターと連携した、効果的な事業を実施していく。

### 2 事業目標と具体的な事業

※ 破線で囲まれた事業については、指定管理者が進める。

#### (1) 「学習の場」の提供

女性のエンパワーメントや男女共同参画の視点に立った意識啓発につながる学習、また社会的性別（ジェンダー）の視点が養われる学習の機会を提供する。

##### ① 主催講座・講演会の開催

###### ア 講座の4本柱とその内容

###### 女性の生き方、エンパワーメント

女性の生き方やエンパワーメントにつながる学習、社会的性別（ジェンダー）の視点が養われる学習。

###### 現代的課題

人権、環境、国際理解等女性を取り巻く今日的課題についての理解を深めるとともに、課題解決に向けての実践的な態度を養う学習。

###### 社会参画

施設ボランティアや女性リーダー等、地域社会に積極的に参画する人材を育成する学習。

###### 子育て

家庭教育の充実と支援、「親学」の推進を図る学習。

###### イ 講座・講演会の開催

- ・ 系統的・継続的な学習機会として連続講座を開催する。
- ・ 継続的な参加が困難な学習者や女性会館を利用したことがない学習者等、幅広い市民を対象として、単発で行う講演会等を開催する。

## ウ 学習サポート

障がいのある方や子育て中の保護者等、様々な事情・状況にある方への学習支援を行うために、講座資料やチラシ等の点訳や要約筆記、手話通訳、託児付きの事業を実施する。

## エ 連携

多様化・高度化する学習ニーズに応えるため、大学、行政機関、女性関連施設、女性会館施設ボランティア等と積極的に連携して事業を展開する。

地域で活躍できるこれからの女性リーダーの育成を目的とした「なごや女性カレッジ」を平成28年度は椙山女学園大学と連携して開催する。

## オ 出前講座

将来を担う若者たちに、男女共同参画や社会的性別（ジェンダー）、デートDV等についての正しい知識や現状について学ぶ機会を提供するために、名古屋市内の高等学校を対象に出前講座を実施する。

## ② 託児事業

託児事業として、女性会館を利用する学習者、また団体・自主学習グループ活動に参加する学習者を支援する「学習支援託児」を行う。

また、講座・講演会等のすべての主催事業において「講座託児」を行う。

## (2) 「交流の場」の提供

女性会館で活動している団体・自主学習グループが、主体的に学び、様々な交流ができ、かつ学習の成果を地域社会に還元することができるように支援する。

### ① 学習成果の還元

ア 「イーブルなごや・フェスティバル」の開催をはじめ、団体・自主学習グループが協力して学習や交流ができ、学習の成果を地域社会に還元できる場を開設する。

イ 団体・自主学習グループによる「自主学習グループ開設講座」に対して支援する。

ウ 「学習グループ登録」の推進や、団体・自主学習グループによる学習の成果還元を支援する。

### ② グループの育成・支援

ア 講座や学習終了後、さらに自主的に学習を深めていこうとする自主学習グループの育成・支援を行う。

イ ボランティア活動やグループ活動の継続・継承・発展を支援するための研修会を開催する。

### (3) 「情報の場」の提供

女性のエンパワーメントや男女共同参画の意識啓発、社会的性別（ジェンダー）の視点を養うことにつながる情報を収集し提供する。

#### ① 学習相談事業

多様化・高度化する学習ニーズに応えるため、女性の課題解決に向けて、適切な情報を提供するとともに、自ら情報収集し学習できるよう学習相談を行う。

#### ② 図書資料室の運営

ア 女性のエンパワーメント、男女共同参画、社会的性別（ジェンダー）の視点で、図書・資料を収集する。

イ 図書・資料の展示、貸出しを行う。また、図書・資料に関する問い合わせ対応や活用の支援を行う。

ウ 主催事業に関連したテーマでの図書・資料の企画展示や講座・講演会等でのガイダンスを行い、利用促進を図る。

#### ③ 広報の充実

女性会館の事業紹介や学習情報の提供のための広報を積極的に行う。

ア 「広報なごや」「名古屋市インフォメーション（ラジオ）」や新聞等を活用した広報を行う。

イ 講座ガイドやチラシを活用した広報を行うとともに、ホームページの充実を図る。

### 3 施設等の提供

「女性の学習・交流・情報の拠点」として、利用者の視点に立った快適な学習環境の形成のために、施設・設備にかかる良好な条件整備に努め、利用促進を図る。

## Ⅶ 平成27年度事業結果

### 1 主催事業のあらまし

#### (1) 「学習の場」の提供事業

##### ① 講座の開催

- ・ 主催講座（なごや女性カレッジを含む）16 講座開催。「明日につながる『女性学』」や「だれもが幸せになれる社会を～結婚差別の現状から考える～」などを開催した。
- ・ 施設ボランティア育成事業として「託児ボランティア養成講座」「難聴者等支援ボランティア養成講座」を前期・後期に開催した。

##### ② 公開講座・講演会等の開催

「平和構築を女性のチカラで～夢や希望あふれる安心・安全な社会を～」 「東日本大震災 県外避難者は語る～めぐりあいの絆から～」など女性の現代的課題にかかわるテーマで公開講座・講演会を12回開催した。また、デートDV防止出前講座を14回開催した。

##### ③ 「なごや女性カレッジ」の開催

椋山女学園大学と連携して「ライフスタイルからみたキャリアデザイン」をテーマに開催した。

##### ④ 連携事業

- ・ 総務局男女平等参画推進室との共催で、男女の生き方をテーマに「人気東大教授の笑って考えるジェンダー論～家庭のこと 仕事のこと 未来のこと～」として特別講演会を開催した。
- ・ 主催講座については、託児の会「たんぽぽ」などの女性学習グループや、名古屋市立大学、名古屋文理大学短期大学部、東海学園大学と連携して開催した。

##### ⑤ 託児事業

- ・ 「講座・講演会託児」59回、「学習支援託児」24回等実施した。
- ・ 託児対象年齢を「1歳から小学校入学前」とした。（平成23年度までは1歳6か月から小学校入学前）

#### (2) 「交流の場」の提供事業

##### ① 学習の成果を還元するための支援

主催講座・講演会における要約筆記、点訳資料の作成、託児付き事業などを実施した。

##### ② グループの育成・支援

「託児ボランティア研修会」などを開催し、施設ボランティアの活動の継承と発展を支援した。

#### (3) 「情報の場」の提供事業

##### ① 図書資料室の運営

女性関係専門書の収集、閲覧、貸し出しを行った。また、講座・講演会に関連した図書を展示・貸し出しする「図書・資料の企画展示」を開催した。

##### ② 広報の充実

名古屋市公式サイトや「生涯学習 Web ナビなごや」へ最新の情報を掲載した。また、「名古屋市だより（ラジオ）」、各社新聞などマスコミを通じての情報提供を積極的に行った。

## 【具体的な事業展開】

### 1 「学習の場」提供事業

#### (1) 主催講座

「女性の生き方、エンパワーメント(A)」、「現代的課題(B)」、「社会参画(C)」、「子育て(D)」の4本柱で、年間を前期（5月～10月）・後期（11月～3月）の2期に分け、実施した。

期	時間	曜日	講座名	回数(回)	募集定員(人)	応募者数(人)	学習者数(人)	託児受入数(人)	
前期 講座	午前	月	<J-1>[東海学園大学連携]幸せ時間が創る私と家族の未来 (B)	5	30	16	14	9	
		火							
	午後	水	<J-2>[名古屋市立大学医学研究科連携]ココロとカラダのセルフケア (B)	4	30	60	37	3	
		金							
	後期 講座	午前	火	<J-3>明日につながる『女性学』 (A)	5	30	11	10	6
			水						
		午後	水	<J-4>こころのメール～障がいのある女性とともに～(A)	5	20	16	16	2
			火						
金									
水									
土	<T-3>パパママ一緒に！ゆったり子育て(D)	3	20	49	25	15			
前期計				34	200	199	140	41	
後期 講座	午前	金	<J-8>託児ボランティア養成講座2 (C)	4	20	11	9	3	
		水	<J-9>難聴者等支援ボランティア養成講座2 (C)	4	20	10	10	0	
		月	<J-10>メディアが発信する女性～〇〇女子と呼ばれて～ (B)	4	30	9	9	2	
		火	<J-11> [なごや女性カレッジ][椋山女学園大学連携]ライフスタイルからみたキャリアデザイン (C)	5	30	15	14	9	
		水	<J-12>[名古屋市立大学人間文化研究科連携]時代と社会の流れで紐解く 世界の女性たち (A)	4	30	27	26	3	
		月	<J-13>だれもが幸せになれる社会を～結婚差別の現状から考える～ (B)	5	30	23	23	3	
		火	<J-14>「わたし」と「家族」(A)	5	30	33	31	14	
		水	<J-15>[名古屋文理大学短期大学部連携]健康シニア！～女性が元気に暮らすために～ (B)	4	30	26	21	0	
後期計				35	220	154	143	34	
主催講座計				69	420	353	283	75	
							受講率	67.4%	

## (2) 公開講座・講演会等

事業名	月日	テーマ	講師	学習者数 (人)	託児数 (人)
公開 講座	7月 7日	<E-4>輝く女性レポーター～楽 しく生きる！をモットーに～	タレント・東海ラジオ レポートドライバー さき みき	64	2
	2月 1日	<E-11>同和問題と差別～ 「Kakekomi 寺・・・結婚差別」の相 談から～	ネットワーク Kakekomi 寺 代表 大賀 喜子	55	2
「いま」 を 読み 解く	6月 20日	<E-3>女性の生き方を考える～ 近代日本女性倫理思想の流れか ら～	神戸大学名誉教授 布川 清司	53	2
	9月 15日	<E-5>後悔しない生き方を～乳 がんを乗り越えて～	NPO法人バースデー健身代表 理事「ペイフワード」コー チング・セミナー講師 岡田 有理	63	5
	10月 17日	<E-8>平和構築を女性のチカラ で～夢や希望あふれる安心・安全 な社会を～	名古屋大学准教授 西川 由紀子	36	1
	3月 12日	<E-12>東日本大震災 県外避 難者は語る～めぐりあいの絆か ら～	めぐりあいの会代表 江本 潤子	59	3
なごや環 境大学共 育講座	5月 23日	<E-2>気候変動と私たちの暮ら し～未来の世代のためにできる こと～	名古屋文化短期大学講師 タレント 気象予報士 早川 敦子	60	1
名古屋市 博物館共 催「特別 展にみる 女性たち 2015」	5月 11日	<E-1> いつだって猫といっしょ	名古屋市博物館学芸員 津田 卓子	81	0
	12月 21日	<E-9>なごやめしのもと	名古屋市博物館学芸員 長谷川 洋一	85	1
名古屋 市美術 館共催	1月 19日	<E-10>女性作家たちが生み出 す世界～アートとクラフトの融 合～	名古屋市美術館学芸員 中村 暁子	36	1
	3月 23日	<E-13>美しく 逞しく～激動 の時代を生きぬいた女性像～	名古屋市美術館学芸課長 山田 諭	124	3
特別 講演会	6月 26日	<E-6>人気東大教授の笑って 考えるジェンダー論～家庭のこ と 仕事のこと 未来のこと～	東京大学教授 瀬地山 角	168	9
		12回		884	30

### (3) 託児事業

事業名	回数・月日	内 容	託児者・講師等	託児数(人)
講座託児	50回	1歳以上就学前までの子の託児	託児の会 「たんぽぽ」	217
講演会託児	9回			26
なごや女性 カレッジ	5回			37
学習支援託児	24回			415
託児室交流会	5月8日 10月9日	講座託児説明会	託児の会 「たんぽぽ」	29
	7月2日 12月4日	語ろう会 (託児利用者と託児ボランティアとの交流会)	託児の会 「たんぽぽ」	30
			合 計	754

## 2 「交流の場」提供事業

### (1) イーブルなごや・フェスティバル2015の開催

テーマ「<sup>みんな</sup>男女で拓く新しいステージ」

事業名	月 日	内 容 等	参加者数 (人)
特別講演会 「人気東大教授の笑って考えるジェンダー論～家庭のこと 仕事のこと 未来のこと」	6月26日	東京大学教授瀬地山角氏による、子どもの送迎と夕食作りを担当する毎日や、カリフォルニアでの娘との「父子家庭」を過ごした体験なども踏まえた、笑いを誘う巧みな話術での「ジェンダー論」についての講演	168
全館オープングループ活動デー	6月27日	全館を使って32グループが活動内容を開放	1,546
舞台発表・交流コーナー・エンディング	6月27日	様々な分野で活動している団体による舞台発表及び交流コーナーの設置。エンディングでは、全館オープングループ活動デーに参加したグループから活動を紹介・報告	306
1/2 B紙展示	5月29日～ 6月27日	B紙の大きさを1/2にして展示 30グループの活動紹介・作品展示	27,058
合 計			29,078

## (2) 自主学習グループ主催講座の開設支援

講座名	団体名	曜日	時間	回数(回)	定員(人)	学習者数(人)
笑いヨガらくらく体操 ～こころもからだもスッキリ!～	ラフタークラブゆりりん	土	午後	5	10	3
妊活、介護予防にもなる美脚・ウォーキング入門	女子の心と体	土	夜間	5	10	6
もったいないを家庭から ～すてる前のひと工夫～	つながれっと 3R	木	午前	4	10	4
もったいないを家庭から ～手仕事でリフォーム～	イーブルなごや 3RL	木	午後	3	10	3
太極扇 42 式入門教室	四つ葉倶楽部	木	午後	5	10	5
生きがい探し「演歌を楽しむ」	演歌を楽しむ会	月	午前	5	10	0

## (3) 研修会・交流会

事業名	回数・月日	内容	講師等	参加者(人)
託児ボランティア研修会	5回	託児活動の確認 講演会「子育て家庭の ウェルビーイング」等	名古屋大学大学院教授 浅野 みどり ほか	103
要約筆記ボランティア研修会	2回	「読みやすく書き正 しく伝えよう」等	NPO法人名古屋難聴 者・中途失聴者支援協会 大橋 千鶴子	8
点訳ボランティア研修会	7月27日	視覚障害者の読書環境	元名古屋市総合リハビリ テーションセンター職員 坂本 隆司	29
子育てグループ交 流会(子育てグル ープ交流会共催)	9月3日 3月11日	仲間と一緒に親子であ そぼう!	リトミック研究センター指 導スタッフ・育児セラピスト 早川 貴子 ほか	36 44
合 計				220

### 3 「情報の場」提供事業

#### (1) 学習相談事業

(単位：件)

学習 機会	施設	団体・ グループ	指導者	資格	教材 (資料)	学習 プログラム	その他	合計
4	2	0	0	1	45	0	7	59

#### (2) 図書資料室の運営

##### ア 利用者数等

事 項	平成27年度	平成26年度
貸出利用者数	1,077人	924人
貸出利用冊数	2,688冊	2,075冊
予約・リクエスト件数	12件	7件
新規登録者数	198人	208人

##### イ 蔵書数

区 分	平成27年度末	平成26年度末
図書・資料 計	28,962	28,085
図書 ※1	20,109	19,453
雑誌 ※2	4,954	4,822
資料 ※3	3,623	3,538
VTR、DVD、CD-ROM	276	272

※1 参考図書、児童図書含む

※2 「女性展望」「We learn」「女たちの21世紀」「婦人公論」など

※3 全国行政機関発行資料、団体資料、大学紀要、貴重書など。

## ウ 図書・資料の企画展示実施結果

回数	開催期間	テーマ	展示した図書の内容
1	5月1日～ 5月31日	母と娘の関係について考える	<ul style="list-style-type: none"> <li>・母と娘の問題について考える</li> <li>・母と娘の関係を見直すために</li> <li>・母子密着について</li> </ul>
2	7月1日～ 7月31日	ひとりひとりが幸せな社会をめざして	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女共同参画社会とは</li> <li>・女性学、男性学</li> <li>・男の男女共同参画社会とは</li> </ul>
3	9月1日～ 9月30日	子育て、孫育てを応援！	<ul style="list-style-type: none"> <li>・悩む親に子育てのヒント</li> <li>・働くママ応援</li> <li>・子育て支援、頼る方法</li> </ul>
4	11月1日～ 11月30日	ドメスティックバイオレンス ってどんなこと？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DVについて解説する</li> <li>・DV被害で悩んでいる人に</li> <li>・DV被害者への接し方</li> <li>・DV被害者の再生</li> </ul>
5	1月4日～ 1月31日	女性が仕事を続けること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性が仕事で認められる方法</li> <li>・女性の管理職について</li> <li>・女性が働きつづけるには</li> <li>・子育てとの両立について</li> </ul>
6	3月1日～ 3月31日	「生きがい」について考える	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア活動について</li> <li>・生涯学習について</li> <li>・生きがいを持った活動について</li> </ul>

#### 4 その他

##### (1) ホール機器研修会

開催日	参加者 (人)
平成27年 4月 9日	6
平成27年 5月14日	9
平成27年 6月11日	10
平成27年 7月 9日	7
平成27年 8月13日	13
平成27年 9月10日	1
平成27年10月 8日	13
平成27年11月12日	10
平成27年12月10日	7
平成28年 1月14日	4
平成28年 2月10日	10
平成28年 3月10日	7
合計	97

Ⅷ 平成27年度利用状況

1 開館日数 348日

2 利用人数 300,769人 (平成26年度 294,902人)

内訳

(1) 研修室・ホール等利用人数

243,277人 (平成26年度 228,965人)

区 分	女 性	男 性	計
貸 室 (男女平等)	31,449人	10,335人	41,784人
貸 室 (女性教育)	78,157人	15,422人	93,579人
貸 室 (その他)	62,515人	38,187人	100,702人
主催講座	5,816人	1,396人	7,212人
計	177,937人	65,340人	243,277人

(2) その他の利用人数

57,492人 (平成26年度 65,937人)

室 名	女 性	男 性	計
託 児 室	3,707人	1,630人	5,337人
ボランティアルーム	1,093人	18人	1,111人
録音室・モニター室	72人	13人	85人
その他(※)	—	—	50,959人
計	4,872人	1,661人	57,492人

(※) 図書資料室、活動コーナー、情報フロアなどの利用者を計上

(3) 研修室・ホール等部屋別利用状況

部屋名	利用件数	利用率	利用者数
大会議室	664 件	67.9 %	13,721 人
中会議室	738	75.5	8,686
小会議室	714	73.0	4,639
大研修室	755	77.2	22,322
第1研修室	705	72.1	14,284
第2研修室	640	65.4	12,414
第3研修室	747	76.4	4,360
第4研修室	736	75.3	5,447
第5研修室	784	80.2	3,755
第6研修室	749	76.6	4,186
第7研修室	753	77.0	8,790
第1和室	647	66.2	3,298
第2和室	525	53.7	2,777
生活科学研修室	519	53.1	6,402
視聴覚室	609	62.3	25,889
文化活動室	822	84.0	15,124
第1集会室	708	72.4	9,421
第2集会室	709	72.5	6,897
第3集会室	772	78.9	4,377
第4集会室	707	72.3	13,573
多目的室	868	88.8	8,807
ホール	355	36.3	44,108
合計	15,226	70.8	243,277
平成26年度合計	13,368	62.3	228,965